

『ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004』開催規模を具体化

ポートメッセなごや会場 5 万人(会議登録者 5 千人を含む)、全国で 50 万人が参加

『第 11 回 ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004』を主催する ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会(会長 豊田章一郎 ITS Japan 会長)は、平成 15 年 4 月 28 日(月)15:30~17:30 名古屋市中区の名古屋観光ホテル『那古西の間(なごにしのみ)』で第 4 回目の会合を行い、市民参加コンセプトを具体化した開催規模を明らかにしました。

ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会は、第 2 回日本組織委員会(2002 年 3 月 22 日実施)にて、“飛躍する移動 ITS for Livable Society”を開催テーマとし、市民参加や環境貢献などに取り組むとの基本理念を決定すると共に、開催規模計画を全参加者 1 万人以上(会議登録者 3 千人以上を含む)と設定してきました。

今回、開催理念に謳った『ITS 専門家中心の世界会議から脱皮し、幅広く市民にも参加を呼びかけ、ITS 認知度の向上を図り、世界会議に新しい潮流を作ろう』との観点から、市民参加コンセプトの企画を具体化しました。具体化した内容は、世界会議を含む 2 週間を「ITS 週間」と位置付け全国的に盛り上げを図ることや、10 月 23(土)、24 日(日)まで展示会を延長開催し市民が参加できる機会を増やすことなどを含んでいます。ITS 世界会議で明らかに市民参加を謳うのは今回が初めてであり、従来の ITS 世界会議にない新しい企画と言えます。

ITS 週間においては、ポートメッセなごやを主会場、名古屋市都心部を副会場と位置付け、関係機関と連携を図りながら 2 つの会場が互いに連動した盛り上げイベントを企画し、ITS 認知向上を図るとともに、ポートメッセなごやの主会場にご来場いただくきっかけとなるように企画します。

また、全国各地の ITS 推進組織と連携し、『ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004』を盛り上げるイベントを実施し、全国レベルで ITS の浸透を図ります。

この市民参加コンセプトの具体化により、新たな参加者目標を設定し、開催主会場のポートメッセなごやへの参加者 5 万人(会議登録者 5 千人を含む)、日本全体で延べ 50 万人の参加者を見込みます。過去の ITS 世界会議(第 1 回パリ、第 2 回横浜、第 3 回オーランド、第 4 回ベルリン、第 5 回ソウル、第 6 回トロント、第 7 回トリノ、第 8 回シドニー、第 9 回シカゴ)では、2000 年に行われた第 7 回 ITS 世界会議 2000 トリノが 7,300 名、その他は約 4,000~5,000 名で推移している(第 10 回マドリッドは今年 11 月 16~20 日開催予定のためデータなし)ことから、今回の目標設定が新たな世界会議の潮流となり注目されるものと期待しており、成功に向けて努力してまいります。

1. 開催規模の具体化

・ポートメッセなごや会場への参加者： 5 万人(うち会議登録者： 5 千人)

・全国の ITS イベントへの参加者： 50 万人

会期： 開会式……………2004 年 10 月 18 日(月)

会議……………2004 年 10 月 19 日(火)~22 日(金)

閉会式……………2004 年 10 月 22 日(金)

展示・イベント…2004 年 10 月 19 日(火)~24(日)

2. 市民参加の内容

- ・市民を対象とした ITS 市民講座,市民セッションなどを企画
- ・23 日(土)、24 日(日)の2日間延長して、体験型展示や市民にわかりやすく工夫した説明で楽しめる展示会の実施
- ・全国の ITS 推進組織と連携した ITS イベントの実施
(名古屋市都心部での ITS イベント実施や、各地域の関係機関・団体などが主催するイベントの実施など)

3. ITS を見学・体験できるショーケース

- ・Livable Society の実現を目指した ITS スマートタウンショーケースの提示
ショーケースの具体的内容は、次回日本組織委員会(2003年10月頃予定)で決定の予定

従来の ITS 世界会議は、ITS 関係者を中心とした専門家による世界会議として ITS の進展に貢献してきましたが、参加者が1万人を超えるまでには至っていませんでした。今回の愛知・名古屋における ITS 世界会議の特長は、ITS 専門家に加え ITS のユーザーである市民の方々にも幅広く参加いただくことを意識した内容を企画します。市民参加のための盛り上げイベントや、市民に分かりやすい ITS 体験型の展示、ITS 理解のための説明工夫を図り、ITS の理解向上を目指します。ITS が人と車の移動を支援すると共に、都市の移動性・快適性と環境を向上させ住みやすい社会を作ることにも貢献していることを実感していただけるものと期待します。このため、参加者 50 万人という目標を掲げ、参加者と共に、ITS を体験する場作りを目指します。

また、ITS による新ビジネス創出への期待も高く、世界の ITS 関係者が一堂に会する世界会議は、具体的な「商談の場」としての意義があります。今回の愛知・名古屋における世界会議では、200 社以上が展示会へ出展することが見込まれています。展示小間の募集は2002年10月から開始され、2003年3月末で316小間(自動車メーカー、電機会社など29社が申し込み)が販売されました。2003年4月からは3種類15タイプのスポンサーシップ募集も開始しました。今後、2003年6月頃から論文募集を開始、2003年12月頃からは会議登録者、テクニカルツア への参加者などの受け付けが始まり、ますます、『ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004』の取り組みが具体的になっていきます。

以上

この件に関する連絡先:

・ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会東京事務所
担当:下之園

TEL:03-3519-2171 FAX:03-3592-0091

・ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会名古屋事務所
担当:西野

TEL:052-954-8527 FAX:052-954-8529